ファッションやビューティが
力になると信じて

STORY、美ST
ボランティア隊
活動報告
④

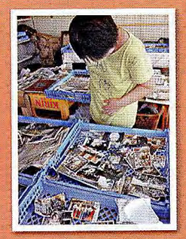
毎週水曜日に開催される復興市場 皆さんの行動力に明日への希望を感じました

市街地では瓦礫は片付き、店も再開、日常の暮らしが戻りつつあります。
一方で、周辺部では倒壊した家もそのまま、ライフラインの復旧も
十分ではありません。それでも、前を向き、力強く歩き始めた被災者の方々。
皆さんの笑顔はひまわりのように輝いていました。

生鮮食料品の売場は買物客で大賑わい。地元の経済が少しずつ回り始めているのだと実感しました。

津波に流された酒瓶がキレイに洗われて店先へ。縁起のいいサバイバー酒を編集部員も購入しました。

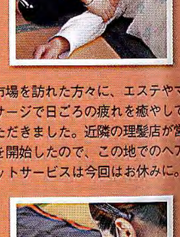
公民館に掲げた手作りの看板。地元の方々が力を合わせ、開いた市場には食品や家電、かき氷等が並びます。



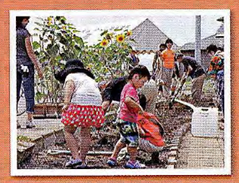
土砂の中から運び出された写真や位牌が並ぶ一室で「同級生が写っている！」と写真を手に取る被災者。

手作り市場の会場設営をお手伝い。老若男女、力を合わせてテントを張り、テーブルを組み立てます。

公民館の隣では半壊の家の取り壊し作業が。幸せな暮らしが一瞬で失われた現実を再認識させられました。



市場を訪れた方々に、エステやマッサージで日ごろの疲れを癒やしていただきました。近隣の理髪店が営業を開始したので、この地でのヘアカットサービスは今回はお休みに。



地元の子供たちと一緒に、ボランティアグループによるひまわりの苗の植え付けをお手伝いしました。

多くの企業からお預かりしたコスメを配布。「津波で何もなくなってしまったから、とても嬉しいわ」と喜びの声。ファンデーションやリップなどのメーク用品が特に人気でした。

壊滅的被害を受けた三陸カキの養殖を復活させるため、隊員もホタテの貝殻を洗い、針金に通す作業をお手伝い。この貝殻は稚貝のベッド。2年後には立派なカキに育つのです。

復興にかける意気込みに胸が熱くなりました

今回ボランティア隊が活動させていただいたのは石巻市にある牡鹿公民館。牡鹿半島の突端にある漁村で、津波の被害は極めて甚大。まだ瓦礫が広く散乱していました。そんな中、地元の方々が力を合わせてテントを張り、週に一度、屋外市場を開催。魚や野菜、生活用品を求める多くの方々が集まり、市場は活気と笑顔に溢れていました。未だ水道や電気の復旧も完全ではない不自由な状況を乗り越え、生活再建への力強い一歩を踏み出したその姿に、隊員一同、感激しました。

参加してくださった皆様4名

美容矯正サロンOcean 長田裕希子さん
FORME 青木 琢さん
ZAC 金森秀晃さん
美容ジャーナリスト 山崎多賀子さん

支援物資をご提供くださったブランド＆企業一覧

アイビー化粧品、アロマスター、アンソニーレッド、ヴェレダ、エバメール、MTコスメティクス、カネボウ化粧品、クラシエ、クラランス、コーセー、シャンティ、シュウ ウエムラ、シュワルツコフ プロフェッショナル、THREE、素数、Dior、デルモンテ、ドクターシーラボ、ナチュラグラッセ、ノエビア、ハーバー研究所、バイオイル、ビオデルマ、福助、フラニー、ポーラ、ポーラファルマ、ペリカン石鹸、メイベリン ニューヨーク、メナード、ラフラ、ラプラボ、ラ・プレリー、ロレアル パリ

撮影／齋藤 明　取材／秋元恵美
協力／認定NPO法人JEN、
石巻社会福祉協議会牡鹿支所
牡鹿ボランティア
デザイン／鈴木 徹
（豊田セツデザイン事務所）

VINCE.
Tokyo 03-3406-7198
Osaka 06-6202-1900
Fukuoka 092-472-6511
http://www.toray-tdm.co.jp